



徳島県キャリア教育推進指針Ⅲ

～とくしまの未来を切り拓くキャリア教育～

令和6年3月 徳島県教育委員会

策定の趣旨

「徳島県キャリア教育推進指針Ⅱ」の成果や課題、学習指導要領の趣旨を踏まえ、徳島教育大綱・徳島県教育振興計画（第4期）に基づき、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる資質・能力を育成するためのキャリア教育について、徳島県としての基本的方針を示すため、「徳島県キャリア教育推進指針Ⅲ」を策定します。

徳島県キャリア教育推進指針Ⅱの取組と成果

- ◇ 令和2年度からすべての学校で「キャリア・パスポート」を活用
～キャリア教育に関わる活動について学びのプロセスの振り返りが可能に～
- ◇ ICTを活用した教育活動の充実
～ICTを活用し、多様な他者とのつながりを拡充し、キャリア形成に必要な資質・能力を育成～
- ◇ 学校・地域・企業等と連携した取組の充実
～発達段階に応じた体験活動、起業家育成、出前授業、インターンシップ等～

課題

- ◇ 教育活動全体を通じた、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力の更なる育成
～コロナ禍で顕在化した不確実性に対応できる人材の育成～
- ◇ オンラインとともに、より効果的な「リアル」な体験の充実
～発達段階に応じた社会参画意識と、勤労観・職業観の育成～
- ◇ 先端技術の活用等による生徒の社会的・職業的自立に向けた取組の推進
～人口縮小社会の中で産官学連携による地域社会の担い手の育成～

これらを踏まえ、今後5年間のキャリア教育の充実に向けて、各学校の教育目標に応じ、取組を推進していきましょう。

徳島県におけるキャリア教育で身に付けさせたい資質・能力

かかわる力 【人間関係形成・社会形成能力】

多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力

本県においては、「ふるさと とくしま」をベースに、ダイバーシティ社会におけるコミュニケーション能力や情報収集能力、交渉力など、他者と協力・協働できる柔軟で主体的な対応能力の育成を図る

みつめる力 【自己理解・自己管理能力】

自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ今後の成長のために進んで学ぼうとする力

本県においては、「キャリア・パスポート」等を活用し、試行錯誤した経験の振り返りをもとに、自分自身を客観的・肯定的にみつめる自己理解力や忍耐力等を育むことにより、キャリア形成において基盤となる自己管理能力やアントレプレナーシップ（起業家精神）の育成を図る

すすむ力 【課題対応能力】

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力

本県においては、少子高齢化やDXの進展など、複雑化する地域課題の解決に粘り強く地道に挑戦を繰り返し、物事を前に進めていくすすむ力を育成することにより、様々な課題を解決していくために必要な発想力や計画構想力、実行力、情報活用能力等の育成を図る

えがく力 【キャリアプランニング能力】

「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

本県においては、人生100年時代を見据え、社会人・職業人として生き、ウェルビーイングを実現するために将来の「生き方」をえがく力を育成することにより、柔軟な発想のもと主体的に判断できるキャリアプランニング能力の育成を図る



不確実性への対応

- ・各学校段階に応じ、「キャリア教育で身に付けさせたい資質・能力」を育成
- ・接続と振り返りを重視したキャリア・パスポートの活用推進
- ・活動場面に応じたICTの効果的活用

必要なアプローチ

- 各発達段階におけるキャリア教育の好事例を参考にしつつ、各学校や地域の特色を生かした活動を推進
- キャリア・パスポートの継続的活用をもとにした接続、卒業段階での活用重視

例えば・・・

- ▶ 動画や事例集、授業公開等を活用し、自校の特色に応じて教育活動を充実
- ▶ 紙媒体とデジタルとを併用したキャリア・パスポートの活用推進



【動画】
ICTで新しい学びを
(徳島県教育委員会)

幼児期

遊びを中心とした生活を通して体験を重ねるように、一人一人に応じて総合的に指導

小学校

学校や家庭、地域での学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動がさらに行えるよう、紙媒体とデジタルとをベストミックスしたキャリア・パスポートの活用を推進

中学校

これまでにどのような力を付けてきたのか、また、課題は何なのかなどを教員間で把握するためにキャリア・パスポートを活用・共有し、生徒の理解を深め、生徒が安心して自分の悩みを表現したり、質問したりできるキャリア・カウンセリングを実施

高等学校

ローカル、グローバルな社会課題を捉えて探究的に関わる機会を設定し、キャリア・パスポートを効果的に活用することで、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力を伸ばす教育活動を推進



キャリアパスポート
ステップアップ事業(那賀高校)

特別支援学校

個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用し、卒業後の社会参加と自立を目指し、幼稚部から高等部まで各段階でのキャリア教育を充実





リアルな体験活動の充実

- ・職場体験、インターンシップ等、多様で豊富な体験的学習
- ・多様な他者と協働し、合意形成、納得解の創造

必要なアプローチ

- 多様で豊富な体験的学習をキャリア教育の視点で捉え直して整理し、充実深化
- 他校生、地域の方・社会人等、多様な属性の方々と協働することで、先入観・価値観を問い直し、合意形成、納得解に向けて取り組む過程を重視

例えば・・・

- ▶ 地域人材を活用した多様な体験的学習により、「ふるさと徳島」への誇りを持ち、地域の魅力創出に向けて主体的に活動する人材を育成
- ▶ 各学校段階における地域の課題解決好事例の積極的な横展開

幼児期

集団生活の中で、自己を発揮し、自信をもって行動できるよう、教師や他の幼児から必要とされる体験を伴う活動を実施

小学校

学校での係活動や地域との体験活動などを通して、自分や周りの人のために働くことの大切さについて話し合い、自分の役割や責任、自他の良さを考えて、お互いに高め合っていく活動を重視



【動画】
小学生職業体験
(徳島県)

中学校

職場体験など、本物に触れる体験を通して、リアルに生きる姿や社会を支える多様な役割を目の当たりにして、学ぶことや働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感できる活動を重視

高等学校

インターンシップによる学びの深化やアントレプレナーシップ教育の拡充により勤労観や職業観を磨き、将来の社会を予測して価値創造できる力を養う教育活動を推進



【動画】
高校生スタディツアー
(徳島県)

特別支援学校

地域の事業所等と連携することにより、地域のにぎわいづくりや貢献活動、インターンシップ、就業体験等の体験的な学習を充実





産官学連携の強化

- ・学校・家庭・地域が連携・協働するコミュニティ・スクールの活用
- ・人口縮小社会において、持続可能な地域社会の担い手育成

必要なアプローチ

- 「地域とともにある学校づくり」に向けた取組を推進するため、学校と家庭、地域社会が連携・協働し、教育活動を充実深化
- 社会情勢の変化に柔軟に対応できるよう、不易と流行を踏まえつつ、自分との関わりを考えながら創造的に「働くこと」に関わる機会の充実

例えば・・・

- ▶ 地域の伝統産業に触れ、産業継承に関わる様々な職業の方とのフィールドワークの実施
- ▶ 関係機関との連携を一層強化し、六次産業化やスタートアップなど、アントレプレナーシップ人材を育成



【動画】
四国まんなかガチ秘境物語
～徳島県立池田高等学校～
(三好市)

幼児期

地域の自然や人と触れ合うことの楽しさや、人の役に立つ喜びを味わう活動を重視

小学校・中学校

学校・家庭・地域が連携・協働するコミュニティ・スクールを活用して、児童・生徒に身に付けさせたい力を共有するなど、キャリア教育の方向性を確認し、講演・出前講座等をはじめとする、より一層充実した教育活動を実現

高等学校

当事者意識をもって社会課題を捉えるためのフィールドワークや、課題対応能力を磨くための産業界や高等教育機関との連携のもと、自己の在り方生き方を考えながらウェルビーイングを目指す教育活動を推進

特別支援学校

就労にかかわる専門家との連携・協働により、実践的な教育内容を充実させ、生徒の働きたい想いに応える就労支援を推進



キャリア教育推進の重点事項

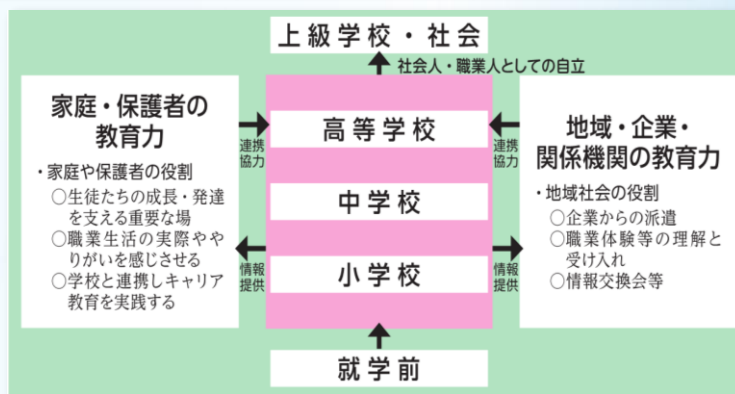
キャリア形成支援のための「連携」について

「縦の連携」と「横の連携」をより意識し、互いの連携を図ることで教育的効果が向上します。

(例) 地域や企業と連携し、地域課題の解決に向けた取組について、中・高生が集まって意見交換
⇒ 横の連携 + 縦の連携

各取組の効果向上のための Check Point !

- ☑ どのような資質・能力を育成するために、この取組を行っているのか、関係者が共通理解している
- ☑ 発達段階等を踏まえて、接続する学校段階間で、児童・生徒の学びの深まりを促す取組である



『小学校・中学校・高等学校の連携と家庭・地域との連携』一部改変
『中学校・高等学校 キャリア教育の手引き』 令和5年3月 文部科学省



縦の連携(幼・小・中・高の学校間連携)

◇各学校段階においてキャリア教育が充実してきていますが、学校間や卒業後の社会との接続を意識した取組と、その評価・検証の取組も重要です。

◆学校間の円滑な接続を意識した取組

- ☛ 接続先における学校体験や、高校生による小・中学校への出前授業 等

◆それぞれの学校段階の学びを接続させ、卒業後の社会との接続をイメージさせる取組

- ☛ 中学校の職場体験活動報告会における、事業所の方や進学先の高校生、校区の小中学生を招いての、活動発表や意見交換の実施 等

◇障がいのある児童生徒の社会参加と自立には、一人一人の教育的ニーズの把握と一貫した教育支援が求められます。

◆一人一人の社会参加や自立に必要な能力を高める取組

- ☛ 支援を要する幼児児童生徒に対する教育支援について、特別支援学校の専門性を生かした「相談活動」や「研修会」の実施 等



横の連携(学校・地域間連携)

◇職場体験活動やインターンシップ、職業人による出前授業等により、社会との接続を意識した取組が充実してきていますが、様々な体験が一過性とならないよう、なお一層充実させる必要があります。

◆育てたい資質・能力を共有する取組

- ☛ 職場体験等における、趣旨の明確化と、受入れ事業所との相互理解の推進 等

◆地域・地元企業等と連携する取組

- ☛ 学校外で実施する体験的な活動に関する、地域や地元企業への時期や内容の周知 等

◇特別支援学校では、社会的・職業的自立を目指す取組とともに、一人一人が地域社会で活躍できるコミュニティづくりを推進する必要があります。

◆障がいのある児童生徒が活躍できる場をつくる取組

- ☛ 特別支援学校と地域の事業所等が連携し、地域の賑わいを創出するためのイベントの開催 等

キャリア教育推進の重点事項

キャリア・パスポートについて

児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと。
(記述や自己評価の指導にあたっては、教師が対話的に関わり、児童生徒一人一人の目標修正などの改善を支援し、個性を伸ばす指導へとつなげながら、学校、家庭及び地域における学びを自己のキャリア形成に生かそうとする態度を養うよう努める必要があります。)

内 容

- 1 児童生徒自らが記録し、学期、学年、入学から卒業までの学習を見通し、振り返るとともに、将来への展望を図ることができるものとする
- 2 学校生活全体及び家庭、地域における学びを含む内容とする
- 3 学年、校種を越えて持ち上げることができるものとする
- 4 大人(家族や教師、地域住民等)が対話的に関わることをできるものとする
- 5 詳しい説明がなくても児童生徒が記述できるものとする
- 6 学級活動・ホームルーム活動で「キャリア・パスポート」を取り扱う場合にはその内容及び実施時間数にふさわしいものとする
- 7 カスタマイズする際には、保護者や地域などの多様な意見も参考にすること

指導上の留意点 学習指導要領解説特別活動編を必ず確認して指導に当たること

- 1 記録や蓄積が、学級活動・ホームルーム活動に偏らないようにすること
- 2 学級活動・ホームルーム活動の目標や内容に即したものとなるようにすること
- 3 学習活動であることを踏まえ、活動記録やワークシートと同様に指導上の配慮を行うこと
- 4 大人(家族や教師、地域住民等)が対話的にかわること
- 5 個人情報を含むことが想定されるため、保管・管理は、原則、学校で行うこと
- 6 学年、校種を越えて引き継ぎ指導に活用すること
- 7 学年間の引き継ぎは、原則、教師間で行い、校種間の引き継ぎは、原則、児童生徒を通じて行うこと

『「キャリア・パスポート」の様式例と指導上の留意事項』一部改編 平成31年3月 文部科学省

Point 1: 校種を越えて引き継ぐ場合は、記録をコンパクトにまとめることが必要です。

Point 2: 高等学校まで持ち上げるためには、冊子の形ではなく、学校・家庭・地域の多様な学びを綴ることのできるファイルの形が有効です。

5年生 進級おめでとうございませう

中学1年生 学年初め

高等学校

「この一年で、自分が成長する上で影響を受けた出来事と理由」
「〇〇さんが言っていた『失敗がない日は、何もしない日』という言葉が心に残りました。失敗をおそれて、チャレンジをしないことがあるけど、失敗してももう一度やってみたり、何か学べることもあると思いました。前向きな気持ちを持って挑戦していきたいと思いました。そして、仕事はたくさんあり、自分が新しい仕事をつくってみるのも楽しそうだと思います。」

徳島県教育委員会では、キャリア教育に関する様々な資料をホームページにまとめています。詳しくは、こちらの二次元コードから！

